

東洋文化研究所紀要 第169冊  
平成 28 年 3 月 抜 刷

## 鎌田 繁 教授 略歴・著作目録

平成28年 3 月

# 鎌田 繁 教授 略歴・著作目録

平成 28 (2016) 年 3 月



## 鎌田 繁 (かまだ しげる)

昭和 26 (1951) 年 3 月 東京に生まれる

### 学歴

昭和 44 (1969) 年 3 月

東京都立西高等学校卒業

昭和 45 (1970) 年 4 月

東京大学教養学部文科 3 類入学

昭和 47 (1972) 年 6 月

東京大学文学部第 1 類 (文化学) 進学

昭和 49 (1974) 年 3 月

東京大学文学部 (宗教学宗教史学専門課程) 卒業

昭和 49 (1974) 年 4 月

東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専修課程修士課程入学

昭和 51 (1976) 年 3 月

東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専修課程修士課程修了

昭和 51 (1976) 年 4 月

東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専修課程博士課程進学

昭和 52 (1977) 年 8 月より昭和 57 (1982) 年 3 月まで

マッギル大学イスラーム学研究所留学

昭和57(1982)年3月

東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専修課程博士課程単位取得  
退学

## 職歴

昭和57(1982)年4月1日

東京大学助手採用(文学部イスラム学研究室)

昭和59(1984)年3月31日

東京大学助手辞職

昭和59(1984)年4月1日

東京外国語大学非常勤講師(アラビア語科)採用

昭和59(1984)年9月1日

東京大学東洋文化研究所助教授採用

平成元(1989)年3月より平成2(1990)年3月まで

日本学術振興会カイロ研究センター派遣

平成7(1995)年9月1日

東京大学東洋文化研究所教授昇任

平成12(2000)年8月より平成13年(2001)年6月まで

ハーヴァード大学近東言語文明学科客員研究員

平成18(2006)年4月1日より平成20(2008)年3月31日まで

東京大学東洋文化研究所副所長兼務

平成28(2016)年3月31日

東京大学東洋文化研究所定年退職

## 学外活動

一般社団法人日本オリエント学会 理事・常務理事・事務局長・会長

日本宗教学会 理事・評議員

一般社団法人日本イスラム協会 評議員

国立民族学博物館 共同研究員

同志社大学一神教学際研究センター 共同研究員

宝積比較宗教文化研究所 理事

井筒ライブラリー編集委員

*Ishrāq : Islamic Philosophy Yearbook* 編集委員

西南アジア研究会

比較思想学会

日本スコティッシュテリア協会

## 教育活動

東京大学大学院 (人文科学／人文社会系研究科) 1985-88, 90-2000 前, 01 後-15

東京大学 (文学部イスラム学) 1986, 87, 90, 91, 94

(文学部宗教学) 2008 後, 12 後

(教養学部) 1985 後 (前期課程), 91 後, 94 前, 2004 後 (前期課程)

東京外国語大学 (外国語学部) 1984, 94, 95, 99 前, 2000 前, 01 後, 02 前, 03 後, 04 後, 05 後, 06 後

一橋大学 (社会学部) 1987, 92, 93

上智大学 (外国語学部) 1988 後, 90, 91, 92, 96 前, 97 前, 98 前

- 信州大学 (教養部) 1991-2000
- 立教大学 1995, 96, 97 前
- 滋賀大学 (経済学部) 2001
- 東洋英和女学院大学大学院  
(人間科学研究科) 2002 後, 04 前, 06 前, 08 前, 10 前, 12 前,  
(14 前)
- 東京学芸大学 (教育学部) 2004 前
- 長崎大学 (歯学部) 2004-15
- 茨城大学 (人文学部) 2004
- 京都大学 (大学院文学研究科・文学部) 2014  
(大学院農学研究科) 2005
- ノートルダム清心女子大学  
(人間生活学部) 2012, 14

## 受賞など

1983 年 第5回日本オリエント学会奨励賞 (社団法人日本オリエント学会)

1984 年 第17回流沙海西奨学会賞 (流沙海西奨学会)

## 鎌田 繁教授 著作目録

- I. 単行書など
- II. 論文など
- III. 小論文・事典項目・学会発表要旨など
- IV. 書評・紹介など
- V. 翻訳など
- VI. その他

### I. 単行書など

- 1001 (共著) 『国民百科事典』 平凡社, 1976-1977 (cf.3002).
- 1002 (共著) 『日本オリエント学会創立二十五周年記念オリエント学論集』 日本オリエント学会編, 刀水書房, 1979年11月17日 (cf.2002).
- 1003 (単著) 『モッラー・サドラーの靈魂論——『真知をもつ者たちの靈葉』校訂・訳注並びに序説』 (イスラム思想研究会報告1) イスラム思想研究会東京大学文学部イスラム学研究室内, 1984年3月20日.
- 1004 (共著) 『日本オリエント学会創立三十周年記念オリエント学論集』 日本オリエント学会編, 刀水書房, 1984年6月9日 (cf.2008).
- 1005 (共著) 『日本大百科全書』 小学館, 1984-1989年 (cf.3006).
- 1006 (共著) 『講座イスラム I イスラム・思想の営み』 中村廣治郎編, 筑摩書房, 1985年9月30日 (cf.2010).



- 1007 (共著)『週間朝日百科・世界の歴史』第78号 [17世紀の世界・1 人物],  
1990年5月27日 (cf.3009).
- 1008 (共著)『救済の諸相』(宗教史学論叢2)吉田泰編, 山本書店, 1990年6  
月15日 (cf.2015).
- 1009 (共著)『日本オリエント学会創立三十五周年記念オリエント学論集』日  
本オリエント学会編, 刀水書房, 1990年7月25日 (cf.2016).
- 1010 (共著)『事典 イスラームの都市性』亜紀書房, 1992年5月31日 (cf.3011).
- 1011 (共著)『現代宗教学』第4巻(権威の構築と破壊)脇本平也・柳川啓一編,  
東京大学出版会, 1992年9月18日 (cf.2018).
- 1012 (共著)『宗教と寛容——異宗教・異文化の対話に向けて』(宝積比較宗  
教・文化叢書1)竹内整一・月本昭男編, 大明堂, 1993年3月30日 (cf.2019).
- 1013 (共編著)『超越と神秘——中国・インド・イスラームの思想世界』(宝  
積比較宗教・文化叢書2)森秀樹と共編, 大明堂, 1994年3月15日 (cf.2021).
- 1014 (共著)『講座イスラーム世界』第4巻(イスラームの思考回路), 竹下政  
孝編, 栄光教育文化研究所, 1995年3月20日 (cf.2023).
- 1015 (共著)『世界の宗教』(放送大学印刷教材)阿部美哉編, 放送大学教育振  
興会, 1995年3月20日 (cf.2024).
- 1016 (共著)『イスラーム研究ハンドブック』(講座イスラーム世界別巻)三浦  
徹・東長靖・黒木英充編, 栄光教育文化研究所, 1995年10月15日 (cf.3017).
- 1017 (共著)『宗教学を学ぶ』井上順孝・月本昭男・星野英紀編, 有斐閣,  
1996年10月30日 (cf.2026, 6015).
- 1018 (共著)『倫理想辞典』星野勉・三嶋輝夫・関根清三編, 山川出版社,  
1997年4月5日 (cf.3019).
- 1019 (共著)『世界の宗教101物語』井上順孝編, 新書館, 1997年4月30日 (cf.3020).
- 1020 (共著)『岩波哲学・思想事典』廣松渉・子安宣邦・三島憲一・宮本久雄・  
佐々木力・野家啓一・末木文美士編, 岩波書店, 1998年3月18日 (cf.3022).

- 1021 (共編著)『聖典と人間』(宝積比較宗教・文化叢書6)市川裕と共編, 大明堂, 1998年3月28日 (cf.2027).
- 1022 (共著)『死生観と生命倫理』関根清三編, 東京大学出版会, 1999年8月23日 (cf.2028).
- 1023 (共著)『アジアを知れば世界が見える』(東京大学東洋文化研究所創立六十周年記念)東京大学東洋文化研究所編, 小学館, 2001年12月10日 (cf.3028).
- 1024 (共著)『岩波イスラーム辞典』大塚和夫・小杉泰・小松久男・東長靖・羽田正・山内昌之編集, 岩波書店, 2002年2月20日 (cf.3029).
- 1025 (共著)『新イスラーム事典』日本イスラーム協会・嶋田襄平・板垣雄三・佐藤次高監修, 平凡社, 2002年3月11日 (cf.3030).
- 1026 (共著)『アジア学の将来像』東京大学東洋文化研究所編, 東京大学出版会, 2003年3月28日 (cf.2031).
- 1027 (共著)『グローバル時代の宗教間対話』星川啓慈・山梨有希子編, 大正大学出版会, 2004年2月29日 (cf.2034).
- 1028 (共著)『岩波講座宗教4 根源へ 思索の冒険』池上良正・小田淑子・島蘭進・末木文美士・関一敏・鶴岡賀雄編, 岩波書店, 2004年3月19日 (cf.2033).
- 1029 (共著) *Encyclopaedia of the Qur'ān*, Jane Dammen McAuliffe (ed.), Brill, 2004, Vol.4 (cf.3033)
- 1030 (共著)『三笠宮崇仁殿下米寿記念論集』三笠宮崇仁殿下米寿記念論集刊行会, 刀水書房, 2004年11月27日 (cf.2035).
- 1031 (共著)『イスラームの神秘主義と聖者信仰』(イスラーム地域研究叢書7)赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編, 東京大学出版会, 2005年1月20日 (cf.2037).
- 1032 (共著)『現代宗教事典』井上順孝編, 弘文堂, 2005年1月30日 (cf.3034).
- 1033 (共著) *Reason and Inspiration in Islam: Theology, Philosophy and Mysticism*

*in Muslim Thought: Essays in Honour of Hermann Landolt*, Todd Lawson (ed.), I. B. Tauris, 2005 (cf.2040).

- 1034 (共著) 『いきいきトーク知識の泉 著名人が語る<知の最前線> 2 古典への誘い』中野達・末木文美士・佐藤研と共著, リブリオ出版, 2007年4月20日 (cf.2045).
- 1035 (共著) 『百学連環——百科事典と博物図譜の饗宴 雑協・書協創立50周年記念 世界出版文化史展』凸版印刷株式会社印刷博物館, 2007年9月21日 (cf.3038).
- 1036 (共著) 『宗教学文献事典』島蘭進・石井研士・下田正弘・深澤英隆編, 弘文堂, 2007年12月15日 (cf.3039).
- 1037 (共著) 『宗教——相克と平和 <国際宗教学宗教史会議東京大会 (IAHR2005) の討議>』秋山書店, 2008年10月10日 (cf.2049).
- 1038 (共著) 『世界史史料2 南アジア・イスラーム世界・アフリカ 18世紀まで』歴史学研究会編, 岩波書店, 2009年7月15日 (cf.3040).
- 1039 (共著) 『宗教学事典』星野英紀・池上良正・氣多雅子・島蘭進・鶴岡賀雄編, 丸善, 2010年10月30日 (cf.3041).
- 1040 (解題) 『アラビア哲学——回教哲学』井筒俊彦著, 慶應義塾大学出版会, 2011年2月25日 (cf.2053).
- 1041 (共著) 『イスラームにおける知の構造と変容——思想史・科学史・社会史の視点から』小林春夫・阿久津正幸・仁子寿晴・野元晋編, 共同利用・共同拠点 イスラーム地域研究拠点 早稲田大学イスラーム地域研究機構, 2011年3月 (cf.2054).
- 1042 (共著) 『井筒俊彦とイスラーム』坂本勉・松原秀一編, 慶應義塾大学出版会, 2012年10月30日 (cf.2057).
- 1043 (共編著) 『世界宗教百科事典』世界宗教百科事典編集委員会編, 丸善出版, 平成24年12月31日 (cf.3044).

- 1044 (共著) 『世界の宗教といかに向き合うか』 (月本昭男先生退職記念献呈論文集第1巻) 市川裕編, 聖公会出版, 2014年3月20日 (cf.2062).
- 1045 (単著) 『イスラームの深層——「遍在する神」とは何か』 NHK出版 (NHKボックス1233), 2015年8月25日.
- 1046 (共著) *An Anthology of Philosophy in Persia Vol.5 (From the School of Shiraz to the Twentieth Century)*, S. H. Nasr and M. Aminrazavi (eds.), I. B. Tauris, 2015 (cf.5003).
- 1047 (共著) 『宗教の壁を乗り越える——多文化共生社会への思想的基盤』 宮本久義・堀内俊郎編, ノンブル社, 2016年1月21日 (cf.2065).

## II. 論文など

- 2001 「サッラージュの神秘階梯説」『オリエント』第20巻第1号 (1977), 1-15.
- 2002 「サッラージュによるスーフィーの理想的生活について」『日本オリエント学会創立二十五周年記念オリエント学論集』日本オリエント学会編, 刀水書房, 1979年11月17日, 181-199.
- 2003 “Nābulusī’s Commentary on Ibn al-Fāriḍ’s *Khamrīyah*,” *Orient* Vol.18 (1982), 19-40.
- 2004 「ズィクルをめぐるイブン・アラビーの冥想」『宗教研究』第57巻第3輯 [258号] (1983), 1-21.
- 2005 「サドルッディーン・シーラーズィーの思想における靈魂 (nafs)」『オリエント』第26巻第2号 (1983), 31-44.
- 2006 “A Study of the Term *Sirr* (Secret) in Sufi *Laṭā’if* Theories,” *Orient* Vol.19 (1983), 7-28.
- 2007 「ハディース編纂の初期の展開とズフリーの活動について」『季刊東西交

- 『渉』第2号第4号(1983), 52-58.
- 2008 「クルアーン第二四章第三五節(「光の節」)の神秘主義的注釈について」  
『日本オリエント学会創立三十周年記念オリエント学論集』日本オリエント学会編, 刀水書房, 1984年6月9日, 193-209.
- 2009 「モッラー・サドラーの輪廻(tanāsukh)思想」『イスラム世界』第23/24号(1985), 55-68.
- 2010 「シーア派の発展——モッラー・サドラーを中心にして」『講座イスラム I イスラム・思想の営み』中村廣治郎編, 筑摩書房, 1985年9月30日, 169-205.
- 2011 「イスラーム神秘主義研究」『東京大学宗教学年報』第3号(1985), 東京大学宗教学研究室編集・発行, 121-131.
- 2012 「モッラー・サドラーの〈万有帰神論〉訳注」『東洋文化研究所紀要』第100冊(1986年3月), 53-131.
- 2013 “The First Being: Intellect (*‘aql/khiradh*) As the Link Between God’s Command and Creation According to Abū Ya’qūb al-Sijistānī,” 『東洋文化研究所紀要』第106冊(1988年3月), 1-33.
- 2014 「ファイド・カーシャーニーのイマーム論における神秘主義的位相」『西南アジア研究』第30号(1989), 56-70.
- 2015 「イスラームにおける救済の前提——スンニー及びシーア・ハディースにおけるイマーム観」『救済の諸相』(宗教史学論叢2) 吉田泰編, 山本書店, 1990年6月15日, 129-162.
- 2016 「イスラーム神秘思想における時間——モッラー・サドラーとシャム スッディーン・ダイラミー」『日本オリエント学会創立三十五周年記念オリエント学論集』日本オリエント学会編, 刀水書房, 1990年7月25日, 93-110.
- 2017 「アッラーマ・ヒッリーのイマーム論——『意図の解明・教義学綱要注釈』

- 第五章訳注『東洋文化研究所紀要』第118冊（1992年3月），119-192.
- 2018「イスラームにおける権威の構造」『現代宗教学』第4巻（権威の構築と破壊）脇本平也・柳川啓一編，東京大学出版会，1992年9月18日，115-136.
- 2019「イスラームにおける他宗教の理解——イブン・ハズムの創世記批判」『宗教と寛容——異宗教・異文化の対話に向けて』（宝積比較宗教・文化叢書1）竹内整一・月本昭男編，大明堂，1993年3月30日，220-238.
- 2020「新イスラーム講座2 ハディース」『イスラーム世界』第39/40号（1993年3月），95-110.
- 2021「神秘主義とシーア・イマーム論の出会い——ファイド・カーシャーニーの完全人間論」『超越と神秘——中国・インド・イスラームの思想世界』（宝積比較宗教・文化叢書2）鎌田繁・森秀樹編，大明堂，1994年3月15日，291-310.
- 2022「イスラームにおける内面への沈潜——神秘家クシャイリーの神体験」『季刊AZ』新人物往来社，1994年2月1日，26-30.
- 2023「イスラームにおける契約——原初の契約をめぐる」『講座イスラーム世界』第4巻（イスラームの思考回路），竹下政孝編，栄光教育文化研究所，1995年3月20日，145-174.
- 2024「イスラームと共同体」『世界の宗教』（放送大学印刷教材）阿部美哉編，放送大学教育振興会，1995年3月20日，102-113.
- 2025 “Metempsychosis (*tanāsukh*) in Mullā Ṣadrā’s Thought,” *Orient* Vol.30/31 [Special Issue: Studies by Members of the Society for Near Eastern Studies in Japan Dedicated to H. I. H. Prince Takahito Mikasa on the Occasion of His Eightieth Birthday] (1995), 119-132.
- 2026「イスラームの時代」『宗教学を学ぶ』井上順孝・月本昭男・星野英紀編，有斐閣，1996年10月30日，200-218.

- 2027 「不可知界への参入——モッラー・サドラーの聖典解釈論」『聖典と人間』  
(宝積比較宗教・文化叢書6)市川裕・鎌田繁編,大明堂,1998年3月28日,  
206-223.
- 2028 「イスラーム——死を超える生」『死生観と生命倫理』関根清三編,東京  
大学出版会,1999年8月23日,80-92.
- 2029 「注釈の革新——モッラー・サドラーのクルアーン注解」『文学』2000年  
7/8月号[第1巻第4号],岩波書店,49-66.
- 2030 (Coauthored with Haruo KOBAYASHI) “Islamic Studies: Toward the Depth  
of a Civilization,” *Orient* Vol.37 [Special Issue: Near Eastern Studies in  
Japan: Islamic Period] (2002), 7-20.
- 2030a [ボスニア語訳] Shigeru Kamada i Haruo Kobayashi (trans. by Nevad  
Kahteran), “Islamske studije (u Japanu) : ka civilizacijskoj dubini,”  
*GLASNIK (The Herald of the Riyasat of the Islamic Community in Bosnia and  
Herzegovina)*, Vol. LXV, No. 7-8, July-August 2003, Sarajevo, 701-716.
- 2031 「イスラームの伝統的知の体系とその変容」『アジア学の将来像』東京大  
学東洋文化研究所編,東京大学出版会,2003年3月28日,405-430.
- 2032 「モッラー・サドラーの預言論——靈魂の精神的完成の文脈において」  
『論集 古典の世界像』(平成10年度~14年度 文部科学省研究費補助金  
特定領域研究(A)118「古典学の再構築」研究成果報告集V A04「古  
典の世界像」班研究報告)神戸,平成15年3月,63-70.
- 2033 「クルアーンとイスラームの諸思潮」『岩波講座宗教4 根源へ 思索の  
冒険』池上良正・小田淑子・島藺進・末木文美士・関一敏・鶴岡賀雄編,  
岩波書店,2004年3月19日,53-76.
- 2034 「イスラームの知と宗教間対話の意味」『グローバル時代の宗教間対話』  
星川啓慈・山梨有希子編,大正大学出版会,2004年2月29日,49-82.
- 2035 「<原初の契約>とイスラームの神秘家」『三笠宮崇仁殿下米寿記念論集』

- 三笠宮崇仁殿下米寿記念論集刊行会, 刀水書房, 2004年11月27日, 243-254.
- 2036 “Time and Space in Mullā Ṣadrā’s Mystical Thought through His Reference to Ushnuhī,” *Islam-West Philosophical Dialogue The Papers Presented at the World Congress on Mulla Sadra (May 1999 Tehran)* Vol.9 (Mulla Sadra Religion and Gnosis), Sadra Islamic Philosophy Research Institute, 1383AHs/2004, 217-232.
- 2037 「神秘主義の聖者とイマーム派のイマーム」『イスラームの神秘主義と聖者信仰』（イスラーム地域研究叢書7）赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編, 東京大学出版会, 2005年1月20日, 115-136.
- 2038 “Mullā Ṣadrā between Mystical Philosophy and Qur’ān Interpretation: Through His Commentary on the “Chapter of Earthquake,”” *International Journal of Asian Studies* Vol.2 Part 2 (2005), 275-289.
- 2039 「公開シンポジウム「宗教と文明間の対話」報告」『宗教研究』第79巻第2輯 [345号] (2005), 1-18.
- 2040 “Fayḍ al-Kāshānī’s *Walāya*: The Confluence of Shi’i Imamology and Mysticism,” *Reason and Inspiration in Islam: Theology, Philosophy and Mysticism in Muslim Thought: Essays in Honour of Hermann Landolt*, Todd Lawson (ed.), I. B. Tauris, 2005, 455-468.
- 2041 「諸宗教の共生とイスラーム」『ベルリン日独センター報告集』第31号 [シリーズ<東と西>「諸宗教の共生——グローバル化した世界における間宗教的・間文化的な共生」] 2005年12月, 89-100.
- 2041a [ドイツ語訳] Kamada Shigeru (übers. von Otto Putz), “Das Zusammenleben der Religionen aus islamischer Sicht,” *Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin* (Hg.), *Veröffentlichungen des Japanisch-Deutschen Zentrums Berlin* (Symposium aus der Reihe “Der Osten - Der Westen”: Zusammenleben der



*Religionen Eine interreligiös-intellektuelle Aufgabe der globalisierten Welt 27.-28. September 2004*) Band 53 (Dezember 2005), 102-116.

- 2042 「イスラームという宗教：タウヒードの視点から」『現代世界における「宗教」研究の新動向を巡る調査および検討 [課題番号 15320012] 平成15～17年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書』研究代表者 鶴岡賀雄，平成18年3月，62-70.
- 2043 「幸福と哲学者の営み——モッラー・サドラーの実体運動説の意味」『東洋文化』第87号 [特集：イスラーム思想の諸相]（2007年3月30日），163-180.
- 2044 「イブン・ハズムとユダヤ教」『CISMOR ユダヤ学会議第2回 ユダヤ学の多様性：取り巻く異文化との対話 2006 December 9』第2巻，同志社大学一神教学際研究センター，2007年3月31日，61-70.
- 2045 「『コーラン』を読む」『いきいきトーク知識の泉 著名人が語る<知の最前線> 2 古典への誘い』リブリオ出版，2007年4月20日，151-223.
- 2046 「正義とイスラーム的思考」『正義および人権に関する比較思想的考察 [課題番号 16320013] 平成16年度～平成18年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書』研究代表者 宇佐美公生（岩手大学教育学部教授），平成19年6月，45-57.
- 2047 「宗教における「信」の諸相3 イスラームの視座から」『比較思想研究』第33号（2007年3月），20-28.
- 2048 「十二イマーム・シーア派における哲学的思索——モッラー・サドラーにおける理性と啓示」『シーア派諸社会の特質とネットワークを考察するための総合研究 [課題番号 18201048] 平成18年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（A）一般）研究成果報告書』研究代表者 山岸智子（明治大学政治経済学部准教授），平成20年6月，122-126.
- 2049 「宗教と文明間の対話——国際宗教学宗教史会議第19回世界大会公開シ

- ンポジウム報告」[第6部まとめと補遺 公開シンポジウム]『宗教——相克と平和 <国際宗教学宗教学会議東京大会 (IAHR2005) の討議>』秋山書店, 2008年10月10日, 342-364 [2039の改訂増補版].
- 2050 “Transmigration of Soul (*tanāsukh*) in Shaykh al-Mufid and Mullā Ṣadrā,” *Orient* Vol.44 (2009), 105-119.
- 2051 “The Place of Mullā Ṣadrā’s *Kitāb al-Mashā’ir* in Izutsu’s Philosophy,” *Intellectual Discourse* (International Islamic University Malaysia), Vol.17, No.2 (2009), 159-172 [cf.2056].
- 2052 “System of Knowledge in Islam and its Transformation,” *ISHRAQ - Yearbook of Islamic Philosophy*, Russian Academy of Sciences Institute of Philosophy & Iranian Institute of Philosophy, [Moscow: Languages of Slavonic Cultures, 2010] No.1 (2010), 141-147.
- 2053 「解題」井筒俊彦『アラビア哲学——回教哲学』慶應義塾大学出版会, 2011年2月25日, 247-264.
- 2054 「シーア派神秘思想とスーフィズム：その連続性とクルアーンの役割」『イスラームにおける知の構造と変容——思想史・科学史・社会史の視点から』小林春夫・阿久津正幸・仁子寿晴・野元晋編, 共同利用・共同拠点イスラーム地域研究拠点 早稲田大学イスラーム地域研究機構, 2011年3月, 263-271.
- 2055 “Mullā Ṣadrā’s *imāma/walāya*: An Aspect of His Indebtedness to Ibn ‘Arabī,” *Journal of Islamic Philosophy* Vol.6 (2010), 67-78.
- 2056 “The Place of Mullā Ṣadrā’s *Kitāb al-Mashā’ir* in Izutsu’s Philosophy,” *Japanese Contribution to Islamic Studies: The Legacy of Toshihiko Izutsu Interpreted*, Ed. by Anis Malik Thoah, IIUM Press International Islamic University Malaysia, 2010, 41-51 [2051と同一].
- 2057 「『存在認識の道』——井筒東洋哲学を支えるもの」『井筒俊彦とイスラーム

- ム』坂本勉・松原秀一編，慶應義塾大学出版会，2012年10月30日，379-388.
- 2058 「スーフイズムにおける身心変容技法」『身心変容技法研究』第2号，97-105，京都大学こころの未来研究センター，2013年3月29日.
- 2059 「マハディーとマイトレーヤ（弥勒仏）—— イスラームと仏教における救済者」『一神教学際研究』第8号，63-79，同志社大学一神教学際研究センター，2013年3月31日.
- 2060 “Mahdi and Maitreya (Miroku) : Saviors in Islam and Buddhism,” *Journal of the Interdisciplinary Study of Monotheistic Religions* Vol.8 (2012), 59-76 [2059の英訳版].
- 2061 「他者との共生とイスラーム」『国際哲学研究』別冊3（共生の哲学に向けて—— イスラームとの対話），101-112，東洋大学国際哲学研究センター，2013年6月30日.
- 2062 「イスラーム神秘主義と流出論」『世界の宗教といかに向き合うか』（月本昭男先生退職記念献呈論文集第1巻）市川裕編，聖公会出版，2014年3月20日，103-119.
- 2063 「イスラームと仏教」『東洋学術研究』第53巻第2号[通巻173号]（2014），25-51，東洋哲学研究所，2014年11月18日.
- 2064 「イブン・スィーナ著『医学典範』における歯痛の解釈」戸田一雄と共著『日本歯科東洋医学会雑誌』第34巻第1/2号（2015），1-7，日本歯科東洋医学会，2015年8月31日.
- 2065 「他者との共生とイスラーム」『宗教の壁を乗り越える—— 多文化共生社会への思想的基盤』宮本久義・堀内俊郎編，ノンブル社，2016年1月21日，79-91 [2061の改訂版].

III. 小論文・事典項目・学会発表要旨など

- 3001 「イスラム神秘主義 —— サッラージュのシャタハ (shath) 観について」  
『宗教研究』第 50 卷第 3 輯 [230 号] (1976), 181-182.
- 3002 『国民百科事典』平凡社, 1976-1977, [以下 8 項目] 「コーラン」(I, 500-501), 「サヌッシー教団」(VI, 117), 「シーア派」(VI, 230), 「スーフィズム」(VII, 485), 「スンニー派」(VII, 534), 「マホメット」(XIII, 87), 「メフレビー教団」(XIII, 372), 「ラマザン」(XIV, 179).
- 3003 「サドルッディーン・シーラーズィーの思想における靈魂 (nafs)」『オリエント』第 26 卷第 2 号 (1983), 181-182.
- 3004 「モッラー・サドラーの神秘思想における輪廻 (tanāsukh)」『宗教研究』第 58 卷第 4 輯 [263 号] (1985), 127-128.
- 3005 「イスラーム神秘思想における終末の理解」『宗教研究』第 61 卷第 4 輯 [275 号] (1988), 247-248.
- 3006 『日本大百科全書』小学館, 1984-1989, [以下 22 項目] 「イスマール派」(II, 276), 「イブン・タイミーヤ」(II, 582), 「イブン・ハンバル」(II, 583), 「イマーム」(II, 599), 「ウラマー」(III, 274), 「カーディー」(V, 453), 「カルマツト派」(V, 921), 「シーア派」(X, 503), 「シャーフイイー」(XI, 385), 「シャーフイイー学派」(XI, 385), 「十二イマーム派」(XI, 573), 「[ウマル・] スフラワルディー」(XIII, 133), 「[ヤフヤー・] スフラワルディー」(XIII, 133), 「スンナ」(XIII, 251), 「スンニー派」(XIII, 251), 「ズーン・ヌーン」(XIII, 251), 「ハサン・サッバーフ」(XVIII, 684), 「ハワーリジュ派」(XIX, 231-232), 「ビスターミー」(XIX, 549), 「ブハーリー」(XX, 474), 「ムハッラム祭」(XXII, 652), 「モッラー・サドラー」(XXII, 896).
- 3007 「シーア・イスラームにおけるイマーム論の転変」『宗教研究』第 62 卷第

4輯 [279号] (1989), 123-125.

- 3008 「モッラー・サドラーとバーバー・アフザル・カーシャーニー」『オリエント』第31巻第2号 (1988), 197.
- 3009 「神秘体験と絶対者の認識——モッラー・サドラー」『週間朝日百科・世界の歴史』第78号 [17世紀の世界・1 人物], 1990年5月27日, C-504.
- 3010 「シーア派イスラーム神学の形成——アッラーマ・ヒッリーの方法」『宗教研究』第64巻第4輯 [287号] (1991), 141-142.
- 3011 「庭園のアイデア」『事典 イスラームの都市性』亜紀書房, 1992年5月31日, 406-407.
- 3012 「イラン・サファヴィー朝期の神秘主義的イマーム論」『オリエント』第35巻第2号 (1992), 211-212.
- 3013 「イスラームと輪廻」宝積比較宗教・文化研究所『宝積』第3号 (1993年7月1日), 33-39.
- 3014 『世界「宗教」総覧』(歴史読本特別増刊事典シリーズ第20号) 新人物往来社, 1993年10月10日, [以下2項目]「イスラームの理解のために」(238-241), 「一二イマーム派」(246).
- 3015 「シーア・イスラームのイマーム論」『宗教研究』第67巻第4輯 [299号] (1994), 138-139.
- 3016 「<原初の契約>について——ラーズィーの注釈より」『宗教研究』第68巻第4輯 [303号] (1995), 139-141.
- 3017 「シーア派など諸派」『イスラーム研究ハンドブック』(講座イスラーム世界別巻) 三浦徹・東長靖・黒木英充編, 栄光教育文化研究所, 1995年10月15日, 35-41.
- 3018 「シーア派資料による諸宗教の対論」『宗教研究』第69巻第4輯 [307号] (1996), 106-107.
- 3019 『倫理思想辞典』星野勉・三嶋輝夫・関根清三編, 山川出版社, 1997年4

- 月 5 日, [以下 2 項目]「イスラム倫理」(35-36), 「ムハンマド」(294).
- 3020 『世界の宗教 101 物語』 井上順孝編, 新書館, 1997 年 4 月 30 日, [以下 17 項目]「初期イスラーム」(104-105), 「スンニー派」(106-107), 「ハワーリジュ派」(108), 「ムータジラ派」(108), 「アシュアリー派」(108), 「ワッハーブ派」(109), 「シーア派」(110-111), 「十二イマーム派」(112), 「ザイド派」(113), 「イスマーイール派(七イマーム派)」(113), 「ニザール派」(113), 「イスファハーン学派」(114), 「シャイヒー派」(114), 「アフバル派」(114), 「アハレ・ハック」(115), 「ドルーズ教」(115), 「ヌサイリー教(アラウィー派)」(115).
- 3021 「モッラー・サドラーのクルアーン解釈の一側面」『宗教研究』第 71 巻第 4 輯 [315 号] (1998), 165-166.
- 3022 『岩波哲学・思想事典』 廣松渉・子安宣邦・三島憲一・宮本久雄・佐々木力・野家啓一・末木文美士編, 岩波書店, 1998 年 3 月 18 日, [以下 28 項目]「悪: イスラーム」(12), 「イスマーイール派」(72), 「一神教/多神教」(84), 「井筒俊彦」(84-85), 「イフワーン・サファー」(93), 「イブン・ハズム」(95), 「イルファーン」(101), 「神: イスラーム」(259), 「ザイド派」(568-569), 「シーア派」(601), 「ジャービル・イブン=ハイヤーン」(700-701), 「ジャーファル・サーディク」(701), 「十二イマーム派」(724-725), 「修行」(737), 「照明哲学」(786), 「信仰: イスラーム」(815), 「聖者」(899), 「聖典解釈: イスラーム」(917-918), 「タフシール」(1038), 「知識: イスラーム」(1062), 「罪: イスラーム」(1099), 「人間観: イスラーム」(1230-1231), 「ハディース」(1284), 「光: 宗教思想」(1313), 「ミール・ダーマード」(1554-1555), 「瞑想」(1577-1578), 「モッラー・サドラー」(1594), 「ルーミー」(1708-1709).
- 3023 「イスラーム学・イラン学」『古典学の再構築』第 1 号 (1998 年 10 月), 22-23 (杉山正明と共著).

- 3024 「古典の写本 (5) イスラーム学分野」『古典学の再構築』第5号 (2000年1月) 表紙裏-1.
- 3025 「イスラームにおける学の理念」『古典学の再構築』第5号 (2000年1月) 16-17.
- 3026 「イスラームにおける学問の分類」『宗教研究』第73巻第4輯 [323号] (2000), 179-180.
- 3027 「イスラーム世界の文化の特徴」『古典学の再構築』第7号 (2000年7月), 23-24.
- 3028 「万華鏡としてのクルアーン」『アジアを知れば世界が見える』(東京大学東洋文化研究所創立六十周年記念) 東京大学東洋文化研究所編, 小学館, 2001年12月10日, 126-137.
- 3029 『岩波イスラーム辞典』大塚和夫・小杉泰・小松久男・東長靖・羽田正・山内昌之編集, 岩波書店, 2002年2月20日, [以下21項目]「アタバート」(21-2), 「アフサーイー」(38), 「イスファハーン学派」(121-2), 「イブン・トゥルカ」(161), 「イルファーン」(178-9), 「エラノス会議」(218), 「クシャイリー」(328), 「グラート」(335), 「サッラージュ」(401-2), 「サブザヴァーリー」(412), 「シーア派」(428), 「シャルフ」(468), 「十二イマーム派」(477-8), 「ゾヌーズィー」(586), 「トゥスタリー」(669), 「バルザフ」(789), 「ヒッリー, アッラーマ」(811), 「ヒッリー, ムハッキク」(811), 「ミール・ダーマード」(951), 「ムッラー・サドラー」(975), 「輪廻」(1053-4).
- 3030 『新イスラム事典』日本イスラム協会・嶋田襄平・板垣雄三・佐藤次高監修, 平凡社, 2002年3月11日, [以下8項目]「アフレ・ハック」(65), 「寛容」(194), 「グラート」(209-10), 「サルマーン・アルファーリシー」(247), 「シーア派」(251-2), 「シャイヒー派」(260), 「トゥーシー」(355), 「ハディース (シーア派)」(397).
- 3031 「発表に対して (1)」日本宗教学会第61回学術大会特別部会「二一世紀

- における諸宗教の共存とアイデンティティの問題」『宗教研究』第76巻第4輯 [335号] 2003年3月, 80-81.
- 3032 「イスラームの展開における聖典の役割」日本宗教学会第62回学術大会特別部会1「宗教研究における聖典論——新たなパースペクティブの構築へ向けて」『宗教研究』第77巻第4輯 [339号] 2004年3月, 87-88.
- 3033 “Secrets,” *Encyclopaedia of the Qur’ān*, Ed. by Jane Dammen McAuliffe, Brill, 2004, Vol.4, 572-573.
- 3034 『現代宗教事典』井上順孝編, 弘文堂, 2005年1月30日, [以下4項目] 「井筒俊彦」(30-31), 「イマーム」(33-34), 「シーア派」(172-173), 「ホメイニー」(471-472).
- 3035 “Mafhūm-i nubūwat nazd-i Mullā Ṣadrā dar siyāq-i matn-i marbūṭ bih kamāl-i rūḥānī-yi nafs,” Muḥammad Jawād Ismā’īlī (tr.), *Majmū‘ah-i maqālāt-i hamāyish-i bayn al-milālī Qurṭuba o-Iṣfahān du maktab-i falsafah-i islāmī, Zīr-i naẓar-o-ishrāf-i Duktur Sayyid ‘Alī Aṣghar Mīr Bāqirīfard, Intishārāt-i Anjuman-i Āthār-o-Mafākhīr-i Farhangī*, 1384AHs/2005, 585-586.
- 3036 『現代倫理学事典』大庭健編集代表, 弘文堂, 平成18年12月15日, [以下5項目] 「イブン・シーナー」(48), 「イブン・ルシュド」(48-49), 「ガザリー」(114), 「スーフィズム」(487-488), 「ムハンマド」(817).
- 3037 「戒としてのシャリーアの意義」日本宗教学会第65回学術大会パネル「戒と死：比較宗教の視点から」『宗教研究』第80巻第4輯 [351号] 2007年3月, 175-176.
- 3038 『百学連環——百科事典と博物図譜の饗宴 雑協・書協創立50周年記念世界出版文化史展』凸版印刷株式会社印刷博物館, 2007年9月21日, [以下4項目] 「ムハンマド・アリー・ベク著『医術の蜜蜂』」(201), 「ジャバルティー著『伝記と歴史における事績の驚異』」(203), 「ファイユミー著『ラーフィイー大注釈の難解語についての輝く燈の書』」(203), 「ハマザー



ニー作ムハンマド・アブドゥフ注釈『マカーマート』(203).

- 3039 『宗教学文献事典』 島蘭進・石井研士・下田正弘・深澤英隆編, 弘文堂, 2007年12月15日, [以下6項目]「五十嵐一『イスラーム・ルネサンス』」(23), 「市川裕・鎌田繁『聖典と人間』」(36), 「大川周明『回教概論』」(77), 「黒田壽郎『イスラームの構造』」(137), 「ブルックス『楽園のデザイン』」(335), 「諸井慶徳『宗教神秘主義発生の研究』」(405).
- 3040 「ムハンマドの言行録」(翻訳および解説)『世界史史料2 南アジア・イスラーム世界・アフリカ 18世紀まで』 歴史学研究会編, 岩波書店, 2009年7月15日, 141-143.
- 3041 「メシア・メシアニズム」『宗教学事典』 星野英紀・池上良正・氣多雅子・島蘭進・鶴岡賀雄編, 丸善, 2010年10月30日, 316-317.
- 3042 “Mahdawīyat-o Āyīn-i Būdāyī-yi Māytrīya,” *Khabarnāma-yi Āyanda-yi Rowshan* (vīzha-yi Haftomīn Hamāyish-i Bayna’l-milālī Doktorīn-i Mahdawīyat) No.13 (1390AHs/2011), 99.
- 3043 “Unitive Experience of Islamic Mystics and their Discourses: Early Šūfīs and Mystical Philosophy in Islam,” *Religion: A Human Phenomenon: Proceedings of the XXth World Congress of the International Association for the History of Religions* (University of Toronto 15-21 August 2010), Donald Wiebe (ed.), The Institute for the Advanced Study of Religion, 2011, 276.
- 3044 『世界宗教百科事典』 世界宗教百科事典編集委員会編, 丸善出版, 平成24年12月31日, [編集および以下3項目]「イスラーム概説」(162-165), 「シーア派」(182-185), 「イスラーム文化圏」(629).
- 3045 「聖典解釈と哲学——イスラーム神秘思想の営み」『比較思想研究』第39号(2012), 143-148.
- 3046 「イスラーム思想と井筒「東洋哲学」」日本宗教学会第72回学術大会パネル「東洋の宗教思想と井筒俊彦」(代表者 澤井義次)『宗教研究』第87卷

別冊（第72回学術大会紀要特集）2014年3月30日，36-37.

3047 「井筒のイスラーム理解と流出論」日本宗教学会第73回学術大会パネル「井筒俊彦の「東洋哲学」への宗教学的視座」（代表者 澤井義次）『宗教研究』第88巻別冊（第73回学術大会紀要特集）2015年3月30日，94-95.

3048 「パネルの主旨とまとめ」日本宗教学会第74回学術大会パネル「東洋の宗教思想と井筒俊彦の哲学的思惟」（代表者 鎌田繁）『宗教研究』第89巻別冊（第74回学術大会紀要特集）2016年3月30日，104-105.

#### IV. 書評・紹介など

4001 「S. H. Nasr, *Islam and the Plight of Modern Man*」『宗教研究』第51巻第1輯 [232号] (1977), 109-112.

4002 「日本イスラム協会・嶋田襄平・板垣雄三・佐藤次高監修『イスラム事典』」『季刊東西交渉』第1巻第4号 (1982), 38-39.

4003 「R. ベル著 / 熊田亨訳『イスラムの起源』」『史学雑誌』第92編第12号 (1983), 105-106.

4004 「資料紹介：昭和57年度——文学部編 Collection of Islamic Studies」『東京大学附属図書館月報 図書館の窓』第22巻第12号 (1983), 118-119.

4005 「[新刊紹介] 井筒俊彦『イスラーム哲学の原像』, 井筒俊彦『コーランを読む』, 中村廣治郎『ガザリーの祈祷論——イスラム神秘主義における修行』, R. A. ニコルソン (中村廣治郎訳・解説)『イスラムの神秘主義』」『東京大学宗教学年報』第1号 (1983), 102-103.

4006 「アブドルワッハブ・ハッラーフ著 / 中村廣治郎訳『イスラムの法』」『朝日ジャーナル』1984年8月3日号, 69.

4007 「『イスラム事典』, 『イスラーム辞典』」『地中海学会月報』第71号 (1984/6・7), 7-8.

- 4008 「S. S. K. Hussaini, *Gisudiraz on Sufism*」『宗教研究』第58巻第2輯 [261号] (1984), 127-131.
- 4009 「[新刊紹介] フリッツ・スタール『神秘主義の探求——方法論的考察』, 川床睦夫編『シンポジウム：イスラームの宗教意識とその周辺——中近東の宗教意識の諸側面』, 中村廣治郎「ガザリーの宇宙論」『東京大学宗教学年報』第3号 (1985), 162, 185.
- 4010 「Samuel M. Stern, *Studies in Early Ismā'ilism*, 1983」『オリエント』第28巻第2号 (1985), 100-101.
- 4011 「[新刊紹介] 井筒俊彦『意味の深みへ——東洋哲学の水位』, R. S. Martin (ed.), *Approaches to Islam in Religious Studies*, 井筒俊彦「イスマイル派「暗殺団」——アラムート城砦のミュトスと神話」上・下」『東京大学宗教学年報』第4号 (1986), 118, 136.
- 4012 「中村廣治郎「ガザリーの法学 (fiqh) 観」『法制史研究』第36巻 (1986), 377-379.
- 4013 「[「イスラム研究写本コレクション」紹介]『東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター報 センター通信』第28号 (1987年9月), 7-9.
- 4014 「[新刊紹介] Takeshita, Masataka, *Ibn 'Arabī's Theory of the Perfect Man and Its Place in the History of Islamic Thought*」『東京大学宗教学年報』第5号 (1987), 164.
- 4015 「書評：Takeshita, Masataka, *Ibn 'Arabī's Theory of the Perfect Man and Its Place in the History of Islamic Thought*」『オリエント』第31巻第1号 (1988), 199-205.
- 4016 「[新刊紹介] アルクーン, ガルデ著『イスラム 過去と未来』『オリエント』第31巻第1号 (1988), 212-213.
- 4017 「東京大学東洋文化研究所蔵 / ダイバー氏旧蔵写本コレクション / 特別展示 1988-11-24」[展示解説 無署名パンフレット]

- 4018 「天理国際シンポジウム事務局編『天理国際シンポジウム '86 コスモス・生命・ヒューマニズムを越えて』』『宗教研究』第 62 卷第 3 輯 [278 号] (1988), 86-89.
- 4019 「クウェイト法務局寄贈図書紹介」『東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター報 センター通信』第 29 号 (1989 年 2 月), 5.
- 4020 「[[新刊紹介] アルクーン, ガルデ『イスラム 過去と未来』, 前嶋信次『イスラムの宗教と歴史』, 牧野信也『イスラームとコーラン』, リーマン『イスラム哲学への扉——理性と啓示をめぐる』』『東京大学宗教学年報』第 6 号 (1988), 182-183.
- 4021 「[[紹介] *Dānīshnāmāh-i Jahān-i Islām (The Persian Encyclopaedia of Islam)*, Tihārān, 1990』『オリエント』第 34 卷第 1 号 (1991), 144-145.
- 4022 「書評: Lazarus-Yafeh, Hava, *Intertwined Worlds. Medieval Islam and Bible Criticism*, Princeton, 1992』『オリエント』第 35 卷第 2 号 (1992), 178-182.
- 4023 「[[紹介] ゴードン著 奥西峻介訳『イスラム教』青土社, 1994 年』『オリエント』第 37 卷第 1 号 (1994), 163-164.
- 4024 「ダイバー・コレクション II について」『東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター報 センター通信』第 36 号 (1996 年 3 月), 1-4.
- 4025 「[[紹介] 板垣雄三監修『講座イスラーム世界』全 5 卷・別巻 1 冊, 栄光教育文化研究所, 1994-95 年』『オリエント』第 38 卷第 2 号 (1995), 175-178.
- 4026 「[[新刊紹介] 牧野信也『イスラームの原点——コーランとハディース』, 東長靖『イスラームのとらえ方』, 宇野昌樹『イスラーム少数派から見た中東社会 イスラーム・ドルーズ派』』『オリエント』第 39 卷第 2 号 (1996), 141, 142 [無署名].
- 4027 「[[新刊紹介] Hans Daiber, *Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber*

- Collection II*, Institute of Oriental Culture, University of Tokyo, 1996] 『オリ  
エント』 第40巻第1号 (1997), 189 [無署名].
- 4028 「[新刊紹介] 佐藤次高『イスラームの生活と技術』, アフマド・Y・ハサン,  
ドナルド・R・ヒル『イスラーム技術の歴史』』 『オリエント』 第42巻第1  
号 (1999), 199-200 [無署名].
- 4029 「[新刊紹介] 近藤二郎訳『パピルス』』 『オリエント』 第42巻第2号  
(1999), 184 [無署名]
- 4030 「ダイバー・コレクション II について」 東京大学東洋文化研究所編 『ア  
ジア学の明日にむけて』 東京大学東洋文化研究所, 2008年3月28日,  
66-70 [4023の再録].
- 4031 「4-1 イスラーム写本「ダイバー・コレクション」データベース」 『アジア  
古籍電子図書館の構築の研究 [課題番号1620017] 平成16年度～平成19  
年度科学研究費補助金(基盤研究(A)) 研究成果報告書』 研究代表者 大  
木康(東京大学東洋文化研究所教授) 平成20年5月23日, 85-89.
- 4032 “[Book review] Mohamed Haj Yousef, *Ibn ‘Arabī - Time and Cosmology*,  
London & New York: Routledge, 2008,” *Journal of Islamic Studies* Vol.21  
(2010) 418-420.
- 4033 「(読書案内) シーア派と神秘主義」 『歴史と地理』 第654号(世界史の研  
究231), 山川出版社, 2012年5月20日, 37-40.
- 4034 「(書評) ティエリー・ザルコンヌ著/東長靖監修/遠藤ゆかり訳『スー  
フィー イスラームの神秘主義者たち』(知の再発見叢書152) 創元社  
2011年」 『イスラーム世界研究』 第5巻第1/2号 ([February] 2012),  
495-497.
- 4035 「(書評) 東長靖『イスラームとスーフィズム —— 神秘主義・聖者信仰・  
道徳』名古屋大学出版会, 2013年」 『オリエント』 第56巻第2号 (2013)  
101-105.

- 4036 「(新刊紹介) 中田考監修, 中田香織・下村佳州紀訳, 松山洋平「正統十  
読誦注解」著訳『日亜対訳クルアーン〔付〕訳解と正統十読誦注解』『オ  
リエント』第58巻第2号(2015), 230-232.

## V. 翻訳など

- 5001 ゲアハルト・ベーヴェリング「イスラームの場合——存在についてのスー  
フィー的洞察」『神の知られざる顔 宗教体験の根本構造』ピーター・L・  
バーガー編, 教文館, 1985年10月10日, 179-204.
- 5002 エヴァ・ドゥ・ヴィトレ＝メイエロヴィッチ「イスラームの詩学」『記号  
の横断』ジュリア・クリステヴァ編, せりか書房, 1987年11月9日,  
275-320.
- 5003 “*Hidden Words (from Kalimāt maknūnah), Divine Sciences (from Ma‘ārif  
ilāhīyah)* [of Mullā Muḥsin Fayḍ Kāshānī, Translated from Arabic and  
Persian],” *An Anthology of Philosophy in Persia* Vol.5 (From the School of  
Shiraz to the Twentieth Century), S. H. Nasr and M. Aminrazavi (eds.), I. B.  
Tauris, 2015, 308-326.

## VI. その他

- 6001 「イスラーム思想の研究」『季刊東西交渉』第4巻第2号(1985), 13.
- 6002 「柳川先生と自主ゼミ」『東京大学宗教学年報』第3号(1985)〔別冊〕  
26-27.
- 6003 「イスラームの話：スンニー派とシーア派」『カイロ日本人会会報 パピ  
ルス』89-3(1989年9月), 8-12.
- 6004 「学振カイロ研究センターとは?」『カイロ日本人会会報 パピルス』

89-9 (1990年3月), 26-27.

6005 「サマー・スクール顛末記」『マディーニーヤ』第33号(1990年9月15日), 7-10.

6006 「アラビア語の本をめぐって」『東京大学附属図書館月報 図書館の窓』第29巻第10号(1990), 95-97.

6007 「[報告] 総括班主催臨時研究会「アラブ世界から日本を見る」『マディーニーヤ』第35号(1990年11月15日), 12.

6008 「第三回全体集会の報告(5) 聖域・権力・経済構造」『マディーニーヤ』第37号(1991年1月15日), 18-19.

6009 「座談会 いま、なぜ比較宗教か(1), (2)」宝積比較宗教・文化研究所『宝積』創刊号(1992年7月1日), 32-50, 第2号(1993年1月1日), 33-50.

6010 「座談会 「ハディース」をめぐって」『イスラム世界』第39/40号(1993年3月), 111-135.

6011 「イスラーム的人間の生き方を知るために」(牧野信也訳『ハディース——イスラーム伝承集成』内容見本推薦文)中央公論社, 1993年7月.

6012 「イスラームの知とハディースの知」(牧野信也訳『ハディース——イスラーム伝承集成』下巻付録月報, 7-8, 中央公論社, 1994年6月.

6014 「イスラーム学」『宗教学がわかる』(AERA Mook 11)朝日新聞社アエラ発行室, 1995年12月10日, 44-45.

6015 「イスラーム世界の暦」『宗教学を学ぶ』井上順孝・月本昭男・星野英紀編, 有斐閣, 1996年10月30日, 219.

6016 「太陽とイスラーム」『宝積』第12号(1998年1月1日), 2-4.

6017 「第7回中村元賞講評」『宝積』第15号(1999年7月1日), 33-37.

6018 「本への思い」『宝積』第17号(2000年7月1日), 2-4.

6019 「イスラームとは? 鎌田繁教授の話(第8回文京ぶらり散歩)」『東医器広

- 報』第178号(2002年1月), 14-15.
- 6020 「ディスカッションの記録」『Newsletter 人間——環境系ニューズレター』第1号(2002年3月25日), 12-13.
- 6021 「多元的共生のイスラーム的基礎づけについての覚え書き」『新分野開拓研究プログラム「アジア諸文化間の多元的共生を求めて——過去から未来へ」平成13年度報告書』東京大学東洋文化研究所, 平成14(2002)年3月28日, 17-21.
- 6023 「イランつれづれ」『宝積』第21号(2002年7月1日), 18-23.
- 6024 「表紙写真解説」『明日の東洋学』第8号(2002年10月31日), 1.
- 6025 「[[連載] イスラームの世界1 [万有の主, 神にこそ凡ての称賛あれ]」『宝積』第22号(2003年1月1日), 18-21.
- 6026 「[[連載] イスラームの世界2 [理由もなく人を殺す者は, 全人類を殺したのと同じである]」『宝積』第23号(2003年7月1日), 16-19.
- 6027 「イスラーム——神の声をききながら生きる」『東京大学東洋文化研究所新分野開拓研究プログラム「アジア諸文化間の多元的共生を求めて——過去から未来へ」平成14年度報告書』東京大学東洋文化研究所, 平成15(2003)年7月28日, 49-59.
- 6028 「[[連載] イスラームの世界3 [彼は孤児のあなたを見つけられ, 庇護なされたではないか]」『宝積』第24号(2004年1月1日), 19-22.
- 6029 「教育・研究の現場から: 東洋文化研究所」『淡青』東京大学広報誌第11号(2003年12月31日), 23.
- 6030 「[[連載] イスラームの世界4 [ユースフの誘惑]」『宝積』第25号(2004年7月1日), 9-12.
- 6031 「現世の幸福と来世の幸福——イスラームの場合」『東京大学東洋文化研究所新分野開拓研究プログラム「アジア諸文化間の多元的共生を求めて——過去から未来へ」平成15年度報告書』東京大学東洋文化研究所, 平



成16(2004)年9月28日, 6-8.

- 6032 「イスラームと一神教の展開」『同志社大学 21世紀 COE プログラム一神教の学際的研究 文明の共存と安全保障の視点から 2003年度研究成果報告書』, 同志社大学一神教学際研究センター, 2004年12月3日, 151-166.
- 6033 「[連載] イスラームの世界5 [イスラームと犬 キトミールの話]」『宝積』第26号(2005年1月1日), 12-15.
- 6034 「[連載] イスラームの世界6 [あなたがたを, 互いに知り合うようにさせるためである]」『宝積』第27号(2005年7月1日), 15-18.
- 6035 「[連載] イスラームの世界7 [神は天地の光である]」『宝積』第28号(2006年1月1日), 13-16.
- 6036 「コメント [市川・手島氏の発表について]」『CISMOR ユダヤ学会議(第1回: Papers & Discussions 日本におけるユダヤ学の現状)』第1号(2005[2006年3月31日発行]), 79-82.
- 6037 「[淡青評論] 本をまもる」『学内広報』東京大学広報委員会 No.1337(2006年5月31日), 24.
- 6038 「[連載] イスラームの世界8 [われは泥の精髓から人間を創った]」『宝積』第29号(2006年7月1日), 11-14.
- 6039 「[連載] イスラームの世界9 [イン・シャー・ラー]」『宝積』第30号(2007年1月1日), 14-16.
- 6040 「おわりに」『東洋文化』第87号(2007年3月30日) [特集: イスラーム思想の諸相], 227-231.
- 6041 「ちいさな研究所」『宝積』第31号(2007年8月1日), 10-11.
- 6042 「[連載] イスラームの世界10 [その日大地はすべての消息を語ろう]」『宝積』第31号(2007年8月1日), 27-29.
- 6044 「昔のスコッチ, 今のスコッチ」『JSTA 会報 Modern Scottie』第2号(2008

年 12 月), 10-12.

6045 「スコッティ・セミナー主催 第 3 回秋期オープンショー報告」『JSTA 会報 Modern Scottie』第 4 号 (2010 年 12 月), 14-16.

6046 「スンニー派とシーア派の違いって何?」『一個人』2012 年 1 月号 (No.140) [保存版特集 イスラム教入門], KK ベストセラーズ, 平成 23 (2011) 年 11 月 26 日, 84-85.

6047 「イスラム原理主義とは何か?」『一個人』2012 年 1 月号 (No.140) [保存版特集 イスラム教入門], KK ベストセラーズ, 平成 23 (2011) 年 11 月 26 日, 86-87.

6048 「会長就任に際して」『オリエント』第 55 巻第 1 巻 (2012), 1.

6049 「第 17 回 JSTA 展オープンショー審査評」『JSTA 会報 Modern Scottie』第 6 号 (2012 年 12 月), 14-16.

6050 「学会創立 60 周年に際して」『オリエント』第 57 巻第 1 巻 (2014), 1.

6051 「「垂幕のうしろから」学んだ井筒俊彦」井筒俊彦全集第 10 巻月報, 慶應義塾大学出版会, 2015 年 5 月 30 日, 1-3.

6052 「歴代センター長より一言 鎌田繁 1989 年 3 月～1990 年 3 月」『日本学術振興会カイロ研究連絡センター三十周年記念』日本学術振興会 (JSPS) カイロ研究連絡センター, 2016 年 1 月 16 日, 52-53 (英訳 54-55, アラビア語訳 56-57).

以上

